



きらり！ チームほおの木

No. 2

<笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい>

令和3年5月21日（金）

文責 田中 純

見え始めた、 最高学年（学校のエンジン）の成長！

☆ 小学校において、6年生は学校のよさを先頭に立って引っ張る、まさに「学校のエンジン」でなければなりません。4月に最高学年となった6年生58名が第二小学校のエンジンとなります。進級後1ヶ月を過ぎた今、学校のエンジンの成長が、少しずつ見え始めています。

○ 朝のボランティア清掃・・・学校は自分たちできれいに！

毎週火曜日と木曜日の朝、7時50分になると、6年生が校舎内の清掃を進んで行ってくださっています。児童昇降口、職員玄関、多目的ホールなど1階を中心に、階段などの清掃にも力を発揮しています。昨年度の6年生から受け継いだ第二小学校の伝統が形となってきています。



○ 6年生になってがんばりたいこと

学年集会「抱負発表」



5月12日（水）の朝の学年集会で、6年生は「6年生になってがんばりたいこと」の発表を行いました。学習面での内容や下級生への接し方を考えることなど、生活面での内容もいろいろ出されました。6年生としての意識の高まりが感じられる発表内容でした。課外活動をがんばって、大会や

コンクールで成果を出したいという発表もあり、コロナ禍の一日も早い収束を願わずにはられません。

「ハインリッヒの法則」ご存じですか？ <危機管理>

○ ハインリッヒの法則とは「1つの重大事故の背後には、29の軽微な事故があり、その背後には300の異常（ヒヤリ、ハット）が存在する。」というもの。

今年度になってから、保護者の方が子どもさんをお迎えのために、自家用車で学校敷地内に入ってこられる中で、「最徐行」での来校でないことが何度か見られ「ヒヤリ、ハット」してきたところです。数年前には、県内の小学校で忘れ物を届けに来られた保護者の方が運転する自家用車により、学校敷地内で児童が犠牲となる人身死亡事故が起きています。このような痛ましい事故を重大事故とするならば、軽微な事故が起きる前に、「ヒヤリ、ハット」をなくす必要があります。学校敷地内では、周囲を十分確認いただくとともに、最徐行でお願いします。